

生産性向上のための取り組み

R7. 10月

業務改善活動

改善
CASE 4

利用者の体力測定において、体力測定専用アプリを用いることで、利用者個々の運動能力の把握ができるようになった。

通所介護

文書量削減



ICT



カイゼン



人材育成



介護ロボット



社会福祉法人博愛会 共生型サービス 暖家Withキッズ

成果

質の向上

動画を撮影しAIの判定による利用者個々の運動能力の把握に努めることができるようになった。

量的な効率化

測定に関して大幅な時間削減ができ、その場で利用者に測定結果を伝えることができるようになった。

解決のステップ

項目別に時間を測定し、記入及び測定結果をまとめていた。

結果を利用者に伝えるのに次の利用日にまたがることなくあったとのこと。

AI判定を導入することで、結果をまとめる時間を削減し測定後すぐに利用者に結果等を伝えることができるようになった。

課題の見える化

【 ☒ 課題抽出 ☒ 構造化 ☐ 調査 】

Before



After

